

# 中日ニュース

シネスコ版

高野 No. 140

本誌同

No. 305

34.11.20

道新 No. 140 晴の夕暮者一初引道新文化賞(不編) (100円)

## 矢表に立つ防衛体制

安保条約の改訂を前に政府はロッキードの採用に踏み切りましたが、通産省が新三菱を主な製  
作会社に決めたため、衆議院決算委員会では田中元委員長が、通産省と新三菱の間がくさいと  
赤城防衛庁長官に嫌味を言っていました。  
折柄、空対空誘導弾サイドワインダーが登場しロッキードとともに防衛力増強の一翼を担う  
ことになりましたが、こうした動きにたいし反対闘争も日増しに高まっています。  
一方、国会では辻正信氏がベトナム賠償をとりあげ、「国民に二百億の金を払わせるなら別  
荘を売って払いなさい」と岸首相に嫌味をならべるなど、防衛力増強の波紋はますます拡ってゆきそうです。

## 作られる「スキーブーム」

長野・埼玉・東京

アルペンの王者、トニー・ザイラーが、この程、映画出演のため来日。想像もしなかつた歓  
迎の人波に、当の本人の方が驚いていました。歓迎会でも、ザイラー詣でのスポンサーが後を  
たちません。  
あるスポンサーの宣伝部では、ブーム作りへ今日も衆知を集めてちみちな計算。すでにデバ  
ートでは、ザイラー・スタイルまでお目見得、抜け目のない便乗を見れば、チャンピオン誘  
致を当てこんでアルプスの山腹へ娯楽センター。  
雑木林もグレンデに代るなど、銀嶺のスターを迎えて冬山へのブームは着々とつくられてい  
るのです。

## 日本の群像

## つどう親ごころ

(100円)

七・五・三日和にめぐまれた十一月十五日。室町の昔から続くこのお祝いに、今も変わるこ  
とのないのは、子供を着飾らせたい親心。小学校から大学へと、エスカレーター・システム  
の有名校は、はやくも入学試験。父兄の方が心配そうです。  
こちらは絵の研究所、未来のピカソを夢みて、ああでもない、こうでもないといくをむの  
は、ここでもお母さん。  
ここは大人の研究所ではありません。ごらんの通り生徒は童謡練習の子供達。明日のスター  
へとひと苦労です。晴れの発表会では、後の方から気のみみょうもひとしおです。  
今日は手しおにかけた結婚式。なにくれとなく世話しないではいられない親心です。  
ゆりかごから、この日までよきにつけ、悪しきにつけ、たのしい親馬鹿苦労は、いつの世も  
変わりません。

674 254

233

207